

## 歯ブラシの歴史の話

歯ブラシはいつ頃できたと思いますか？ どんな歯ブラシでみがいていたと思いますか？



←左の写真は「チュースティック」「歯木」と呼ばれていたものを再現したものです。

**古代エジプト・古代インド**で広まった歯ブラシの原型といわれているものです。

木の枝の一端を歯で噛んで柔らかくクシャクシャにして、歯を磨いていました。



**中国**では、インドから仏教伝来以来、柳でつくられた楊枝を使って磨いていたそうです。唐の時代には、楊枝に塩をつける習慣もあり、晩唐には指で歯を擦って磨いている壁画が敦煌で見つかったそうです。

**ヨーロッパ**では、歯を「布」で拭いたり、「木片」や「金属」の鋭利な先端で歯間を掃除していたそうです。

**日本**では、仏教伝来と共に「歯木」が伝わってきました。ただ、日本では歯木の事を「楊枝」「房楊枝」と呼びました。

江戸時代には、一般庶民に広く普及し、楊枝は全盛期を迎えます。特に、「さるや」と

楊枝屋の楊枝が有名で、300年経った今も日本橋で営業しています。

明治初期にはインドから伝わってきたクジラ楊枝⇒「クジラの髪と馬の毛を組み合わ

て作ったもの」を使い始めます。これが歯ブラシの始まり！原型！とされています



「クジラ楊枝」は大阪を中心に販売されていました。

明治24年頃のクジラ楊枝は今の歯ブラシとほとんど変わらない形でしたが誰も

歯ブラシとは呼びませんでした。そして明治29年にライオンが「ばんざい歯ブラシ」

と名付けて販売をし、歯ブラシと呼ばれるようになったそうです。



皆さんの使っている歯ブラシに、こんな歴史があつたんですね。改めて自分の歯ブラシを見てください。交換時ではないですか？



歯ブラシを後ろから見て、毛先が横にはみ出していたら歯ブラシの交換をお勧めします。

きれいな歯ブラシを使用してください。